

### コロナを乗り越え雇用・賃金・労働条件を守る新たな1年へ!

#### 菊池委員長の挨拶



#### 労働組合の基本精神

今年九州地域を襲った豪雨による災害で、尊い命が奪われたことに心より哀悼の意を表すとともに、被災された方々にはお見舞いを申し上げ、1日も早い復旧復興をお祈りいたします。我々が所属する全自交の九州の仲間のご自宅や会社も被災しておられますが、幸い逢我などの報告はなく、安心しました。

昨年の定期大会の際には、台風豪雨被害に対し組合員の皆さんからも温かい気持ちのこめられたカンパを頂戴し、福岡厚生からも1人500円×組合員数の災害カンパを被災した仲間へ届けることができました。今回の災害についても全自交労働本部からカンパを直接九州の仲間へお渡ししたことをご報告します。日本は災害の多い国です。今後も異常気象の影響で災害が起らないとも限りません。そのことを踏まえ、労働組合の基本精神は助け合い、支え合いであることを忘れず、今後も心を寄せていきたいと思えます。

### 第47回 定期大会

#### 「コロナ禍について」

今年の3月から8カ月、多くの事業者が休業した中で、東洋交通は半月のみ休業し、翌月から通常稼働をじています。これは営業中、休業中の感染予防対策にしっかりと取り組んだ成果です。在宅勤務などで人の移動が減っている中、アプリなど無線配車が増加しているのは、利用者の感染リスクを避けたい、タクシーが電車・バスより安全と考え、同じ料金を払うなら品質の良いタクシーに乗りたいと思いのマインドを運んでいるのだと思います。これは皆さんの日頃の接客接遇の努力の賜物。心より感謝します。今後も賃金・労働条件の改善が勝ち取れるよう、現場の努力が社会から、お客様からの支持につながっていることを絶えず意識し引き続き行動して頂くようお願いいたします。

#### 「補償制度の改善について」

新型コロナウイルス感染症拡大によるタクシーの營收激減と、ハイタク労働者の命を守る為に多くの労使は計画休業を行い、「雇用調整助成金」制度を活用し、休業補償を行いました。東洋交通は当初平均賃金の7割でしたが、各産業の労働組合が野党を通じて「雇用調整助成金の拡充」を政府に対し厳しく要求し、結果上限を8,330円から15,000円に引き上げられたことで、後に10割の休業補償が実現できました。今後も計画休業の検討が必要

にならないとも限りません。我々は、公共交通機関としての役割を果たしながら、ハイタク労働者の労働と、安心して生活できる収入を両立できる補償制度の改善にも声をあげていかなければなりません。

#### ライドシェア問題 管新内閣について

コロナ禍で関心が薄れていますが、菅首相が就任早々会談しているのはパソナの竹中平蔵氏、楽天の三木谷会長、デュービッシュ、アトキンソン氏ら、ライドシェア論者ばかりです。今後注視が必要者です。Maasやストリートシェア法の成立、規制改革に伴う運行管理ののオンライン化など、変な方向に向かわないか危惧しています。今後もライドシェア、白タク合法化阻止の運動を進めて参りますので皆さんのご理解・ご協力をお願いいたします。

菅新内閣の方針は「安倍政権の継承」となっており、以前と何も変わっていません。国民が安全、安心に暮らすことができ、平等で豊かになれる政治が行われるように、声をあげ実行して頂ける議員を国会におくならなければならぬこと、国を作り政治を変える1票を持つていけるのは我々国民なのだとして強く自覚して行動し、運動を進めていきます。

今期もまだ厳しい状況が続きますが、秋闘、春闘に向け、団結して賃金・労働条件の改善を勝ち取りましょう!



2020年10月18日10時、本社棟2階会議室において第47回定期大会が開催されました。議長には鈴木正徳氏(5002)書記には内田幸氏(6015)が選任され、出席31名、委任状361通により大会

が成立することが宣言されました。今大会は新型コロナウイルス感染症防対策として参加人数を制限して行われました。冒頭、参加者全員で9月にお亡くなりになられた上原三三氏に想いを捧げました。

全自交労働、全自交東京地連、全自交管手地本、日交労働組合、日交労働赤羽支部、日交労働盤谷支部、改進黨労働組合、全自交羽田労働組合、春駒交通労働組合、ワイエム交通労働組合、日本交通横浜労働組合から閉会を誓う強いメッセージを頂きました。ありがとうございました。

#### 「2020活動報告」「2020決算報告」 満場一致で承認



「2020活動報告」「2020決算報告」では、新型コロナウイルスの影響で3月以降の明番集会、ミーティングなどの集会や行事などが中止となりましたが、2019秋闘、2020春闘、中央委員会など筒井書記長より報告がありました。審判委員長より「2020決算報告」が行われ、菅正徳会計監査より10月3日に行われた会計監査で全ての帳簿が適正且つ正確であったことが報告されました。「2020活動報告」「決算報告」は満場一致で承認されました。



第1号議案、2号議案、3号議案について、質疑はなく、全員の拍手をもって満場一致で承認されました。

「2021年度一般会計(案)」  
「2021年度特別会計予算案)」  
第3号議案  
《文体活動規定》  
現行 クラブ活動は東洋交通労働組合の組合員(本採用)で構成されているところ、共済組合の組合員(本採用)も追加とする変更

第1号議案  
「2021年度活動方針(案)」  
1. 「白タク合法化阻止」を始めとする制度・政策要求表現の闘い  
2. 東洋交通における賃金・労働条件の改善と要求の闘い  
3. 組織の強化・拡大の闘い  
4. 教宣活動について  
5. 法対活動について  
6. 安全マネジメント活動への取り組み  
7. 文体活動について  
8. カンパ活動について

全自交労連 第76回 定期大会 **定年功労者表彰・クラブポイント授与**

**職場を守るために 労使の意思疎通を!**  
伊藤委員長は挨拶で、雇用調整助成金の特例措置について11月2月末まで支給されることになったが、支給が終了した段階でタクシー事業者の倒産や廃業が増加する事が予想される。職場は守らなければならぬ。打開するには経営側と意思疎通を図ることが欠かせない」と強調し、「需要が低迷している時こそ稼働率や実車距離などを勘案した適正な台数を指摘すべきだ。準特定地域協議会が機能しているのだからこそ、十分に議論して欲しい。そうでないと労使ともに其倒れになってしまふ」と危機感を示した。



各クラブの代表者にポイントが授与されました。2020年度は著名活動の協力や提出物期限の加点ポイントがプラスされました。2021年度は積極的に組合活動に参加してクラブポイントを勝ち取るう!

定年功労者表彰  
館山 武氏(5004)  
65歳でマラソンやフットサルを全力で頑張るスーパーマンです。これからも怪我に気を付けて仕事にもスポーツにも励んでください。



また、乗務員の感染防止対策と危険手当を要求するとし、「感染リスクが高いタクシー乗務員に対し月額1万円(2労働日で2万円)の危険手当の支給を事業者、国、自治体に要求する」とし、乗務で感染した場合には賃金全額補償を求めるとしました。

**コロナに負けず、更なる賃金・労働条件の向上を目指し 団結してガンバロー!**

《2020運動方針》  
1. 命と雇用と生活を守り、働き続けられる労働条件の確保  
2. 生活に欠かせない公共インフラとしてのタクシーを守り、ライドシェアの導入を阻止  
3. 組織の拡大・強化を進め、力強い全自交の運動を展開

10月29日、豊島区民センターにおいて全自交東京地連第123回定期大会が開催されました。  
溝上委員長は挨拶では「新型コロナウイルスの影響で飲食業だけではなく交通崩壊を危惧し事業者への支援の要請、公共交通を担う責務があるとして乗務員の健康と使命を守る要請をしていくことを強く訴えました。また、KPRUとの統合に向けて5月31日に臨時大会が行われることが発表され「現在



**2021年 東洋交通労働組合・共済組合 新年会(旗開き) 中止のお知らせ**

2021年1月10日に予定していた新年会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止にすることを第12回執行委員会で決定しました。2022年の新年会は1月9日に行う予定です。

7単組・5,000名の東京地連はKPRUと統合する事で1万人を超える組織となる。全国の先頭となって更なる運動を進めていく」と述べました。  
●ライドシェア・白タク合法化を阻止  
●適正化・活性化の推進  
●組織拡大の実現  
●制度・政策要求の実現  
●新型コロナウイルス感染拡大による影響への対策の5項目を柱にした運動方針が承認され「どのよう困難な状況でも、今大会で打ち立てた運動方針の力で、団結を持ってこの危機的状況を乗り越えるしかない」としてハイテク産業を真の公共交通機関として成熟させ、社会的地位の向上を目指し「丸と丸」で運動する」と宣言しました。

全自交東京地連 第123回定期大会